

気象庁技術報告, 86, 84-97.  
 Yoshizumi, S., 1975: Development of an instability line under a cut-off low, Paper. Met. Geophys., 26, 167-180.

吉住楨夫, 1974: 大雨を伴う梅雨前線帯の構造, 気象庁技術報告, 86, 36-52.  
 —, 1974: 梅雨前線帯の中間規模じょう乱, 気象庁技術報告, 86, 67-83.

日本気象学会誌 **気象集誌**

第II輯 第54巻 第1号 1976年2月

新田勲: 気団変質特別観測における熱および水蒸気の収支解析……………1-14  
 村上勝人: インドにおける夏のモンスーンの変動に関する解析…………… 15-31  
 武田喬男・森山憲昭・岩坂泰信: 尾鷲地域の豪雨の Case study …………… 32-41  
 播磨屋敏生: 霞の embryo と形成 …………… 42-51  
 森山 茂: 放射伝達に及ぼす火星大気中のダストの効果(その3) —ダストによる放射効果を入れた火星大気の輻射対流平衡に関する数値実験…………… 52-58  
 塩谷正雄・岩谷祥美: 強風時における変動風速の水平方向の空間相関…………… 59-67

要報と質疑

E.M. Agee: 対流セルの偏平度を対流層の厚さと乱渦の異方性の関数とした観測事例 …………… 68-71  
 二宮洸三: AMTEX '74 期間, 黒潮海域の大気下層の水平気温傾度の変動…………… 72-75  
 駒林 誠: 古気候と大気のハドレー循環…………… 76-79

日本気象学会誌 **気象集誌**

第II輯 第54巻 第2号 1976年4月

伊藤朋之: 長期間の自動連続測定のために改良されたボラック型凝結核測定装置…………… 81-90  
 宮原三郎: 側壁を持つ回転流体中のクリティカルレベルでの波の吸収…………… 91-98  
 野本真一・竹永一雄・島村 克・原 達也: 数値予報結果を使用した台風進路の統計予報……………99-104  
 P.S. Sehra: 南極および赤道地域の大気の構造…………… 105-117

要報と質疑

高島 逸: 衛星 データ (11.2 μm) に於ける大気エアゾールの地表面温度決定への影響について…………… 118-122  
 R.F. Griffiths, J. Latham and R.L.Reed: 溶解する電からの electrical corona …………… 123-125  
 山形俊男: 弱いシアー流中のロスビー波の伝播について…………… 126-128